

サンクリスタル乳剤技術情報

使用上の注意事項

上手な使い方

- 本剤は物理的に作用する剤であり、散布液が直接病害虫にかからないと効果が発揮されません。病害虫にムラなくかかるよう、葉の表裏へ丁寧に十分散布しましょう。
- 1週間間隔で希釈液を2～3回連用すると効果的です。多発時は散布間隔を短縮することをおすすめします。

使用上の注意点

- 拡展性に優れるため、展着剤を加用する必要はありません(他剤との混用時も加用の必要はありません)。また、機能性展着剤の加用により、薬害を生ずることがありますので、加用しないよう注意してください。
- ストロビルリン系の殺菌剤(アゾキシストロビン剤、クレンキシムメチル剤)及びTPN剤とその混合剤との混用散布及び近接散布により薬害を生じる場合がありますので、混用及び近接散布は避けてください。ストロビルリン系殺菌剤を散布した後は、2週間以上間隔をあけて本剤を散布してください。
- アセタミプリド剤、トリフルミゾール剤、ベノミル剤、キャプタン剤との混用も薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。
- 葉面散布肥料との混用により薬害を生ずる場合がありますので、混用はさけてください。
- いちごで使用する場合、完熟状態での使用は品種により果実が黒ずむ場合があるので、完熟となる前までに散布してください。完熟の果実を収穫する際は、それらの果実を全て収穫した後に散布することをおすすめします。

サンクリスタル乳剤技術情報

サンクリスタル乳剤の薬効試験成績

ハダニ類

作用機作

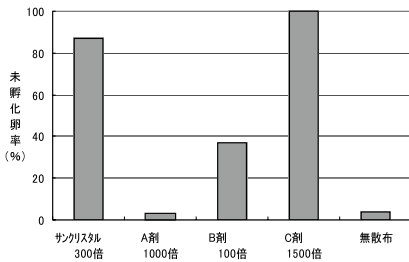
ハダニ類の幼・成虫に対する主な作用機作は気門封鎖と考えられます。

効果上の特長

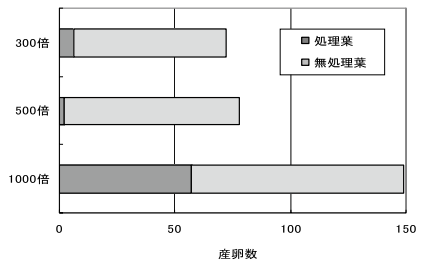
幼・成虫に対する直接効果以外にも殺卵効果や産卵抑制効果も確認されています。

<殺卵効果・産卵抑制効果の例[ナミハダニ]>

殺卵効果



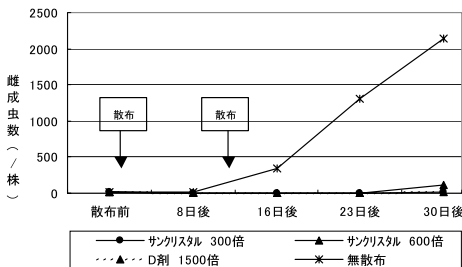
産卵抑制効果



試験場所：サンケイ化学(株)研究部 ガラスハウス内
 作物名：いんげん(さつきみどり2号:初生葉)
 放虫月日：2005年5月3日
 薬剤散布日：2005年5月4日
 調査月日：薬剤処理7日後

試験場所：サンケイ化学(株)研究部 ガラスハウス内
 作物名：キャベツ(アーリーボール)
 試験方法：1995年4月7日薬剤散布風乾後、無処理面にナミハダニ雌成虫(45頭)放虫。
 調査月日：薬剤処理3日後

連用散布した場合の効果 (10日間隔 2回散布)



試験場所：サンケイ化学(株)研究部ガラスハウス内
 作物名：なす(千両2号)7葉期・12×24cmプランター(2プランター/区)
 試験方法：2002年5月23日 ナミハダニ放虫
 5月25日 雌成虫計数後、1回目薬剤散布
 6月2日 2回目散布(対照剤は1回目のみ散布)
 調査月日：薬剤処理8日、16日、23日、30日後に雌成虫数を調査

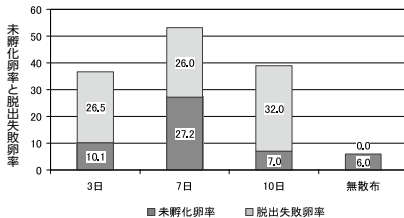
コナジラミ類

効果上の特長

- オンシツコナジラミ、タバココナジラミバイオタイプ B (シルバーリーフコナジラミ)、同バイオタイプ Q に対して効果があります。
- 殺卵効果、ふ化直後の幼虫に対する殺虫効果(ふ化阻害)があることが確認されています。
- 若齢、中齢幼虫や偽蛹(老齢幼虫)に対する効果があります。
- 成虫に対する殺虫効果の他植物体に対する寄生阻害効果や、産卵抑制効果のあることが確認されています。

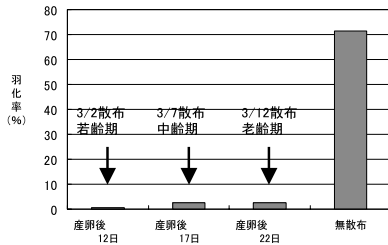
<各ステージにおける生物効果の例>

卵に対する効果



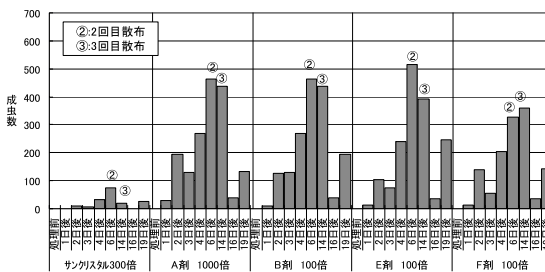
試験場所：サンケイ化学(株)研究部 ガラスハウス内
 試験方法：トマト苗(品種:タイニーティム)をケージに入れ、タバココナジラミ成虫を放虫後、2日間の産卵期間を設けた。成虫除去後0、3、7、10日後に本剤300倍を散布。加温ガラスハウスで管理し、孵化幼虫数を調査。
 薬剤処理日：2007年1月4、7、11、14日
 調査日：1月18日

幼虫・偽蛹に対する殺虫効果



試験場所：サンケイ化学(株)研究部 ガラスハウス内
 作物名：トマト(品種:タイニーティム)
 試験方法：2007年2月16日~18日に成虫を放虫し、産卵させた。3月2日、7日、12日に各々1回散布。
 調査日：2007年3月20日調査。

連用散布した場合の効果(約1週間間隔3回散布)



試験場所：サンケイ化学(株)研究部 ガラスハウス内
 作物名：つるなしいんげん(さつきみどり2号) ポット栽培
 供試生物：タバココナジラミ成虫
 試験方法：各種薬剤散布後、ハウス内に移動させランダム配置し、加温ガラスハウスで管理。
 薬剤処理日：2006年3月5日、11日、19日
 調査：成虫寄生数を調査

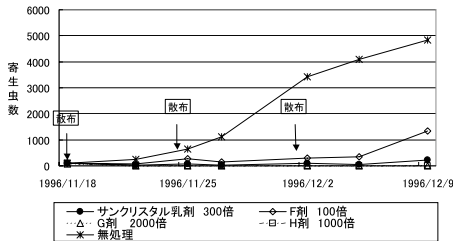
サンクリスタル乳剤技術情報

アブラムシ類

作用機作

アブラムシ類の幼・成虫に対する主な作用機作は気門封鎖と考えられます。

ワタアブラムシに対する薬効事例



試験場所：サンケイ化学(株)研究部 ガラスハウス内
 作物名：いちご(とよのか)
 対象害虫：ワタアブラムシ(発生初期)
 試験方法：1996年11月18日、11月25日、12月2日に
 勾型噴霧器を用いて薬剤散布。
 調査月日：11月18日(処理前)、11月25日、12月2日、
 12月9日に寄生虫数を調査。

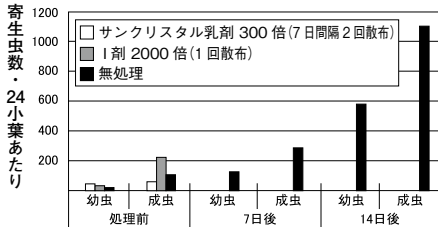
トマトサビダニ

作用機作

トマトサビダニの幼・成虫に対する主な作用機作は気門封鎖と考えられます。

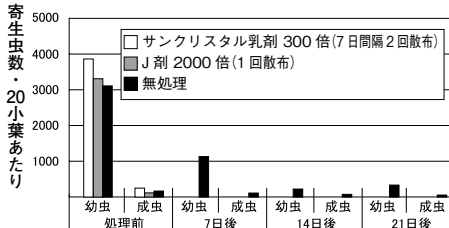
トマトサビダニに対する薬効事例

平成20年度日本植物防疫協会委託試験(社)日本植物防疫協会研究所高知試験場



試験場所：高知県香南市野市町
 (社)日本植物防疫協会研究所高知試験場内 施設
 発生程度：中→多発生
 作物名：トマト(ハウス桃太郎)定植4月22日
 薬剤処理：2008年6月27日(313L/10a)、7月4日
 (365L/10a)に肩掛式噴霧器を用いて散布。
 展着剤は使用しなかった。
 調査方法：各区8株より任意に12小葉をサンプリングし、実
 体顕微鏡下で寄生する虫数を幼虫・成虫別に調査。

平成21年度日本植物防疫協会委託試験(社)日本植物防疫協会研究所宮崎試験場



試験場所：宮崎県宮崎市佐土原町下那珂
 (社)日本植物防疫協会研究所宮崎試験場 施設圃場
 発生程度：多→少発生
 作物名：トマト(桃太郎ファイト)定植4月14日
 薬剤処理：2009年7月10日、7月17日に肩掛式噴
 霧器を用いて325L/10a散布。
 展着剤は使用しなかった
 調査方法：各区全株(10株)の各株上位2小葉につい
 て、生存する虫数を幼虫・成虫別に調査。



◀サンクリスタル乳剤
(300倍)散布区



◀無散布区の
被害の状態

サンクリスタル乳剤技術情報

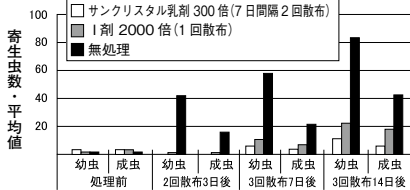
チャノホコリダニ

作用機作

チャノホコリダニの幼・成虫に対する主な作用機作は気門封鎖と考えられます。

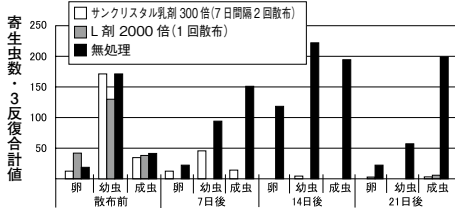
チャノホコリダニに対する薬効事例

平成19年度日本植物防疫協会委託試験(大分県肥料植物防疫協会)



試験場所：大分県速見郡日出町豊岡
 発生程度：少〜多発生
 作物名：なす(庄屋大長)定植6月6日
 薬剤処理：肩掛け噴霧器を用いて200L/10a散布(7月17日、7月24日、7月31日の3回)。
 調査方法：1区5株について、各株展開葉1葉、計5葉を採取し、直径18mm内のチャノホコリダニを成虫、幼虫別に実体顕微鏡下で調査。

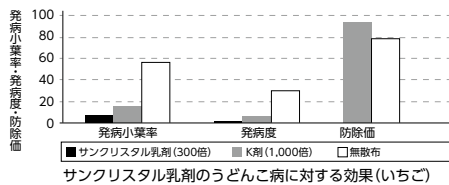
平成20年度日本植物防疫協会委託試験(社)日本植物防疫協会研究所高知試験場)



試験場所：高知県香南市野市町
 (社)日本植物防疫協会研究所高知試験場内施設
 発生程度：多発生
 作物名：なす(春鈴)定植5月8日
 薬剤処理：肩掛け動力噴霧器を用いて356L/10a散布。7月9日、7月16日の2回散布。
 調査方法：各区中央部付近の4株から選んだ10主枝について、1主枝あたり上位1葉から1リーフディスク(直径15mm)採取し、実体顕微鏡下で寄生する虫数を発育ステージ別に調査。

うどんこ病

生物効果の例



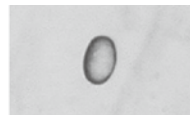
サンクリスタル乳剤のうどんこ病に対する効果(いちご)

試験場所：栃木県植物防疫協会
 作物名：いちご(品種:女峰)
 発生状況：多発生(伝染源設置)
 試験方法：所定濃度の薬液をハンドスプレーを使用し十分量散布。
 対照剤には展着剤新リノール10,000倍を加用。噴霧器を用いて薬剤散布。
 散布月日：平成7年7月7日、7月14日、7月21日(3回)
 調査月日：平成7年7月28日、1区20株について上位4葉(12小葉)の発病率及び発病度を算出。

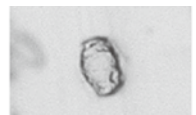
うどんこ病

作用機作

本剤を処理した時のうどんこ病分生子

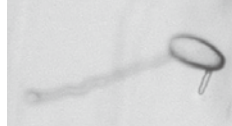


発芽の見られない分生子



収縮した分生子

本剤無処理のうどんこ病分生子



正常に発芽している分生子

※うどんこ病菌に対しては分生子に強く作用することが判明しており、分生子の収縮、発芽阻止や菌糸の伸長の抑制が確認されています。

(写真出典・岡山県農林水産総合センター試験研究報告)

汚れ軽減効果

他剤との同時防除を行う場合、汚れ軽減効果が期待できます。

サンクリスタル乳剤
 300倍
 N剤 2000倍



N剤 2000倍
 (単用)

試験年月：2003年9月
 試験場所：サンケイ化学(株)
 供試作物：研究部圃場内
 なす(千両2号)

サンクリスタル乳剤技術情報

有用生物に対する影響

ミツバチ、マルハナバチ等の訪花昆虫や各種天敵類に対し、影響の少ないことが確認されています。

天敵類

タイリクヒメハナカメムシ、ハナカメムシ類、スワルスキーカブリダニ、チリカブリダニ、ミヤコカブリダニ、ククメリスカブリダニ、タマゴバチ※、コレマンアブラバチ※、イサエアヒメコバチ※、サバクツヤコバチ※、チチュウカイツヤコバチ※、ナミテントウ、クサカゲロウ、タバコカスミカメ、クロヒョウタンカスミカメ（※の付いた天敵については、本剤を散布し風乾後に放飼することをおすすめします）

訪花昆虫

ミツバチ、マルハナバチ

チリカブリダニ	卵	幼虫	成虫
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	室内試験：○	室内試験：○	室内試験：○
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	—	室内試験：◎	室内試験：◎
産卵阻害	—	—	室内試験：◎
圃場試験	公的機関での影響評価試験の結果、影響なしの判定		

ミヤコカブリダニ	卵	幼虫	成虫
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	—	—	室内試験：○
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	—	—	室内試験：◎
産卵阻害	—	—	—

ククメリスカブリダニ	卵	幼虫	成虫
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	—	—	室内試験：○
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	—	—	室内試験：◎
産卵阻害	—	—	—

スワルスキーカブリダニ	卵	幼虫	成虫
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	—	—	室内試験：○
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	—	—	室内試験：◎
産卵阻害	—	—	—

タイリクヒメハナカメムシ	卵	若齢幼虫	中～老齢幼虫	成虫
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	室内試験：○	室内試験：◎	室内試験：◎	室内試験：◎
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	—	室内試験：◎	室内試験：◎	室内試験：◎
産卵阻害	—	—	—	室内試験：◎

土着性ヒメハナカメムシ	卵	若齢幼虫	中～老齢幼虫	成虫
圃場試験	—	—	—	ガラス室内試験：個体数推移影響なし

タマゴバチ	寄生卵	成虫
寄生卵浸漬処理	室内試験：○	—
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	—	室内試験：◎
産卵阻害	—	—

コレマンアブラバチ	マミー（羽化時の影響）	成虫	産卵影響
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	—	室内試験：○	—
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	—	室内試験：◎	室内試験：◎

イサエアヒメコバチ	成虫	幼虫
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	室内試験：○	—
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	室内試験：◎	室内試験：◎

サンクリスタル乳剤技術情報

サバクツヤコバチ	成虫	幼虫
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	室内試験：○	
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	室内試験：◎	

チチュウカイツヤコバチ	成虫	幼虫
天敵放飼後、薬液処理（直接処理）	室内試験：○	
薬液処理（風乾）後、天敵放飼	室内試験：◎	

クサカゲロウ	卵	幼虫	成虫
虫体直接処理後、放飼		室内試験：◎	
薬液処理（風乾）後、天敵放飼			
産卵阻害	—	—	

ナミテントウ	卵	幼虫	成虫
虫体直接処理後、放飼		室内試験：◎	室内試験：◎
薬液処理（風乾）後、天敵放飼			
産卵阻害	—	—	

タバコカスミカメ	300倍	600倍
虫体浸漬法	○	◎

クロヒョウタンカスミカメ	雌成虫		雄成虫		幼虫	
	300倍	600倍	300倍	600倍	300倍	600倍
虫体浸漬法	◎	◎	◎	◎		
葉片浸漬法	◎	◎	◎	◎	◎	◎

表中の影響評価について

天敵に対する影響は日本バイオリジカルコントロール協議会の評価基準に準じています。

◎：死亡率0～25%、○：25～50%、△：50～75%、×：75～100%（野外・半野外試験）

◎：死亡率0～30%、○：30～80%、△：80～99%、×：99～100%（室内試験）

表中の影響程度はあくまでも目安であり、気象条件（温度、降雨、紫外線の程度及び換気条件等）により変化します。

※表中の空欄部分は未検討であることを示します。

マルハナバチ（セイヨウオオマルハナバチ）	成虫
直接散布	室内試験：◎
薬液処理（風乾）後、放飼	室内試験：◎

※マルハナバチに対する影響は日本バイオリジカルコントロール協議会の評価基準に準じています。

※マルハナバチに対する影響は ◎：影響なし、○：影響1日、△：影響2日、×影響3日以上

ミツバチ（働き蜂）	成虫
虫体散布法	◎
いちご葉接触法	◎

※ミツバチに対する影響は実用濃度（90%製品 300倍 3,000ppm）で

◎：影響なし、○：影響1日、△：影響2日、×影響3日以上

サンクリスタル乳剤技術情報

各種病害虫に対するスペクトラム

本剤の作用性は物理的効果によるものと考えられ、薬剤が病害虫の体表面に付着することで優れた密度抑制効果および生育阻害作用を示します。他剤の薬剤耐性うどんこ病、薬剤抵抗性ハダニ類やワタアブラムシに対し効果が認められています。

【病害分野】

病害名	作物名	効果
うどんこ病	いちご	○
	きゅうり	○
	トマト	○
	なす	○

【害虫分野】

○：活性あり △：活性弱い ×：活性無い

分類	種類	殺虫活性
ダニ目	ナミハダニ雌成虫	○
	ナミハダニ卵	○
	ミカンハダニ	○
	リンゴハダニ	○
	チャノホコリダニ	○
カメムシ目	ワタアブラムシ	○
	モモアカアブラムシ	△
	ジャガイモヒゲナガアブラムシ	△
	オンシツコナジラミ	○
	タバココナジラミ	○

サンクリスタル乳剤の高温条件下における安全性（トマト）

高温時の連続散布試験の結果、影響は認められませんでした。

以下に4品種での高温時の薬害検討内容を記します。

【試験条件】

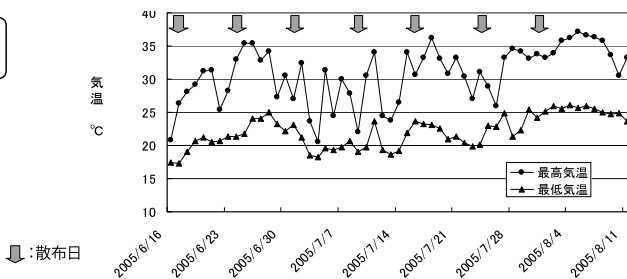
試験場所：埼玉県深谷市 サンケイ化学（株）研究部
 試験期間：2005年6月17日～8月8日
 供試作物：トマト（レッドオーレ、イエローミミ、ティンカーベル、ティオック） / 露地のポット栽培
 品種と試験開始時の草丈
 ・レッドオーレ 3葉期（草丈12～16cm）
 ・イエローミミ 3葉期（草丈10～15cm）
 ・ティンカーベル 3葉期（草丈9～10cm）
 ・ティオック 3葉期（草丈13～14cm）

【試験結果】 薬害の有無（葉及び果実）

供試薬剤	6月24日	7月1日	7月9日	7月16日	7月24日	7月31日	8月8日
サンクリスタル乳剤 300倍	—	—	—	—	—	—	—
サンクリスタル乳剤 600倍	—	—	—	—	—	—	—
無散布	—	—	—	—	—	—	—

※表中の「—」は薬害が認められなかったことを示す。

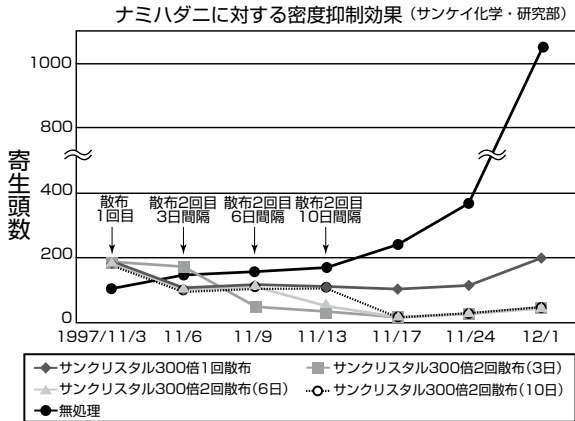
試験期間中の 散布日と気温



※上記検討において薬害はみとめられませんが、全ての環境（温度、湿度、品種、作物の生育状態等）で薬害が出ないことを保障するものではありません。

害虫防除は連続散布がおすすめ

本剤は虫体直接散布により効果を発揮します。多発時には害虫の移動も盛んになります。1回散布よりも数日間隔での連続散布がより有効です。薬剤抵抗性獲得リスクの心配もありません。



試験場所：サンケイ化学(株)研究部ガラスハウス内
 作物名：なす (品種：千両2号)
 試験方法：1ポット/区 (全ステージのナミハダニが寄生した状態で供試)
 薬剤散布月日：1997年
 [試験区①] 11月3日 (1回散布)
 [試験区②] 11月3日、11月6日 (3日間隔 2回散布)
 [試験区③] 11月3日、11月9日 (6日間隔 2回散布)
 [試験区④] 11月3日、11月13日 (10日間隔 2回散布)
 調査月日：11月3日、11月6日、11月9日、11月13日、11月17日、11月24日、12月1日
 植物全体の雌成虫数を調査

サンクリスタル乳剤技術情報

サンクリスタル乳剤の花き類に対する安全性（単剤使用：600倍）

ばら								
品種名	葉	花・蕾	品種名	葉	花・蕾	品種名	葉	花・蕾
アサフラン	○	○	チャールストン	○	○	ミケランジェロ	○	○
アストラル	○	○	チャイコフスキー	○	○	ミスターリンカーン	×	NT
アベイ・ドゥ・クリニュー	○	○	デザート ピース	○	○	ミラマーレ	○	○
アルティシモ	○	○	デジレー	○	○	ミルバ	○	○
アルフォンスドーテ	○	○	デスティニィ	○	○	メシナ	○	○
アンジェラ	○	○	ティディーベアー	○	○	メルヘンケンギン	○	○
アンティベス	○	○	トゥールーズロートレック	○	○	モスコ	○	○
アンソニー メイアン	○	○	ドニャーソル	○	○	モナリザ	○	○
イエロー・シンプリシティ	○	○	ドフトツァーパア84	○	○	ヨハン シュトラウス	○	○
イブ・ピアツェ	○	○	ドレステン	○	○	ラ セリビアーナ	○	○
イリオス	○	○	ドゥフトボルケ	○	○	ラグーン	○	○
インカ	○	○	ニュードーン	○	○	ラブ	○	○
イングリッドバーグマン	○	○	ニルバーナ	○	○	ラブリーリディア	○	○
ウィン シュッテン	○	○	ネージュ・パルファム	○	○	レーシー レディ	○	○
ウォーターメロンアイス	○	○	ネオン	○	○	レオニダス	○	○
エキサイティング	○	○	ノスタルジィ	○	○	レッドスター	○	○
エリザ	○	○	ハーモニィ	○	○	レオダンス	○	○
エル	○	○	パイオリブ	○	○	レディ メイアンディナ	○	○
オウギュスト ルノアール	○	○	パイカロール	○	○	レモネード	○	○
オクラホマ	○	○	パガメイアン	○	○	ローテローゼ	○	○
オーガスティン ギノッソ	○	○	パラディ	○	○	ローラ	○	○
オートム	○	○	バリ	○	○	ロイヤルアルバートホール	○	NT
カメレオン	○	○	パレリーナ	○	○	ロイヤルシャミラ	○	○
ギィ ドゥ モーパッサン	○	○	パレンシア	○	○	ロジータベンデラ	○	○
キリマンジャロ	○	○	パロール	○	○	ロッチェリア	○	○
キャンドルライト	○	○	ピース	○	○	サマースノー	○	○
キュリオシティ	○	○	ピスタツシェ!	○	○	サンプライト	○	○
クイーンエリザベス	×	NT	ピバ!	○	○	スパニッシュビューティ	○	○
グリーンアロー	○	○	ピンクマリナ	○	○	つるゴールドバニー	○	○
グルス アン テブリッツ	○	○	ピンク・ラ・セザリアーナ	○	○	つるサラバンド	○	○
グレーフィン ソニア	○	○	ファーストブラッシュ	○	○	つるピース	○	○
クンパカ	○	○	ファピラス!	○	○	アイスバーグ	○	○
ゴールドデンハート	○	○	フィリップノワ	○	○	フリージア	×	NT
コスミック	○	○	プリンセスアイコ	○	○	キスミー	○	○
ゴデルゼ	○	○	プリンセス ドゥ モナコ	○	○	カリナ	○	○
サハラ98	○	○	プリンセスミチコ	○	○	朝雲	○	○
サニーイルゼ	○	○	ブラック バッカラ	○	○	宴	○	○
サマー モルゲン	○	○	ブルームーン	○	○	花音	○	○
サン ガッディス	○	○	ブルーライト	○	○	かがやき	○	○
サントワマミー	○	○	ブルーリバー	○	○	乾杯	○	○
サンプライト	○	○	ブルゴーニュ	○	○	希望	○	○
シェリーメディランド	○	○	ブルズアイ	○	○	月光	○	○
ジブシーキュリオース	○	○	フレグラントレディ	○	○	香貴	○	○
シャルル ド ゴール	○	○	ヘリテージ	○	○	琴音	○	○
シャリテ	○	○	ヘルムット コールローズ	○	○	賛美	○	○
シュワルツマドンナ	○	○	ヘルムット コーハローズ	○	○	紫雲	○	○
ジュリア	○	○	ヘルムット シュミット	○	○	紫香	○	○
シルバー・ジュビリー	○	○	ペラミ	○	○	純光	○	○
シルバナスベック	○	○	ヘンリーフォンダ	○	○	早春	○	○
スーベレン	○	○	ホワイト・クリスマス	○	○	聖火	○	○
スイートユニーク	○	○	M. セカンドラブ	○	○	丹頂	○	○
スターライト	○	○	M. パーニングラブ	○	○	白鳥	○	○
ソニア	○	○	マーロン	○	○	ひなあられ	○	○
ソリドール	○	○	マイナーフェア	○	○	姫	○	○
ダイヤモンド・ジュビリー	○	○	マダム・パタフライ	○	○	芳純	○	○
ダブル・ディライト	○	○	マッカートニーローズ	○	○	正雲	○	○
ダイアナプリンセスオブウェルズ	○	○	マノラ	○	○	夢想	○	○
ダンシングクイーン	○	○	マライヤ	○	○	夢夢	○	○
チェリーブランド	○	○	マルコポーロ	○	○	連弾	○	○

表中の「○」は薬害が出ないことを保証するものではありません NT：試験未実施

サンクリスタル乳剤技術情報

サンクリスタル乳剤の花き類に対する安全性 (単剤使用 : 600 倍)

きく			
品種名	葉	花・蕾	
あぐり	○	○	
アルプス	○	○	
オーロラ	○	○	
お夏	○	○	
オレンジスター	○	○	
かわせみ	○	○	
キャンディ	○	○	
金スター	○	○	
きらり	○	○	
きりん	○	○	
銀峰	○	○	
コーラル	○	○	
コスモスコール	○	○	
こだま	○	○	
国華金山	○	○	
国華万福	○	○	
小春	○	○	
サイン	○	○	
さつま	○	○	
サンオレンジ	○	○	
サンセット	○	○	
サンバ	○	○	
サンビーチ	○	○	
秀芳の力	○	○	
神馬	○	○	
スーパーオレンジ	○	○	
つるぎ	○	○	
テスラ	○	○	
天馬	○	○	
ともしび	○	○	
夏あそび	○	○	
ニコル	○	○	
パステル	○	○	
花車	○	○	
花火	○	○	
はるき	○	○	
ふるさと	○	○	
ホワイトチャーム	○	○	
マーコット	○	○	
まどか	○	○	
みずほ	○	○	
みつばち	○	○	
モナ	○	○	
モモコ	○	○	
ゆうき	○	○	
湧水	○	○	
ゆりかご	○	○	
リネカーホワイト	○	○	

花き類			
作物名	品種名	葉	花・蕾
ガーベラ	—	○	○
きんせんか	冬知らず	○	○
シネリア	—	○	×
サルビア	—	○	○
宿根かすみそう	ニューフェイス	○	○
	ミリオンスター	○	○
ジギタリス	—	○	○
スイセン	ティタティタ	○	○
ナデシコ	—	○	○
クリサンセマム	—	○	○
パンジー	—	○	○
ピオラ	—	○	○
ニチニチソウ	—	○	○
プリムラ	—	○	×
ゆり	カサブランカ	○	○
	マルコポーロ	○	○
ランキキュラス	—	○	×
	桃色系	×	×
	黄色系	×	○
ラベンダー	—	○	○
ホオズキ	在来種	○	○
	大分在来 (大実系)	○	○
	丹波ホオズキ	○	NT
	クロホオズキ	○	NT

観葉植物		
作物名	品種名	葉
アジアンタム	—	×
サンセベリア	—	○
ディフェンバキア	—	○

表中の「○」は葉害が出ないことを保証するものではありません NT : 試験未実施